あがまち 議会だより

No.83
2026.2

Tsugawa Elementaryo Scool

津川小学校

緊張した…　でも、思い切って質問してみた。
そして…できた！

ダブル表紙

津小太郎

町活性化のため作成したキャラクター

わたしたちの意見 町長！聞いてください

12月4日 津川小学校

こんな阿賀町にしたい…そんな思いを胸に津川小学校の6年生が議場に立ちました。
実際の子ども達の質疑内容を紹介します。

Q 「あがりーな」は小学生までしか遊べないので、中学生でも体を動かして安全に遊べる屋内施設が欲しいです。

A 提案を受けたので、みんなで検討して作れるように努力します。

Q 阿賀町には病児施設がありません。病児施設があったら、親の負担も減ると思いますが…

A 小児科医は常駐していませんが、病後児保育は三川診療所で実施中です。困ったときは役場へご相談ください。

Q 少子高齢化対策としてU・Iターン者を増やすために、もっとPRしたらよいと思います。

A 町も力を入れており、今後はもっと工夫していきたいです。人が集まる場での発信を大切にしていきます。

Q 道路で動物が車にひかれないように対策をした方がいいと思います。

A 各担当課で対策を強化し、国や県にも働きかけていきます。町道・農道・林道は町が責任をもって対応します。

議会終了後に感想を聞いてみました。

皆さんの圧が凄かった

質問されると思わなかった

子どもから大人までの洋服屋さんが欲しい

疲れました

もっと公園を増やしてほしい

活気あふれる町にしたい

議会は静かで緊張した

私の案で町が良くなったらいいな

言いたいことが言えた。

日常に体験しないことだから怖かった

子ども目線で、まちづくり会議！

こども未来フォーラム

今、阿賀町の児童・生徒は、“2035年ふるさと阿賀町の未来予想図”と題して「10年先の、この町をこうしたい」「こうしたらみんなが幸せに暮らせる」をテーマに私達が出来ることを真剣に考えています。

こども未来フォーラムのなりたち

こども未来フォーラムは、2016年に町内３小学校児童が町の将来を考える「総合学習交流会」に町の知名度アップのアイデアを出し合ったのが始まりです。翌年の第２回からは、町内全小学校、その翌年からは中学校・高校も参加し、毎年規模を拡大し現在に至ります。

各学校別の研究テーマを紹介

前半では各学校別に学んだことを発表し、後半は年齢に関係なく、町の未来への想いをテーマに意見を交わしました。

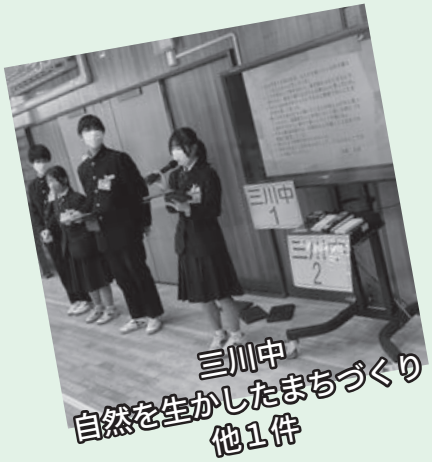
津川小
発酵食品を通して考える
阿賀町の魅力

上川小
阿賀町の輪

三川小
阿賀町をつなぐ

阿賀黎明高
空き家プロジェクト
他10件

阿賀津川中
森の素材を使ったものづくり
他５件


三川中
自然を生かしたまちづくり
他１件

12月定例会議

12月定例会議が、12月3日から12日まで開催された。令和7年度一般会計及び特別会計補正予算の他に、条例の制定等、計14議案と請願1件を審議し、原案通り可決同意された。

令和7年度　一般会計補正予算

歳入歳出ともに 3億2330万円増

総額 134億4930万円

当初予算より4億7930万円増

主な補正予算の内容は・・・

物価高対策生活支援特別事業 …… 7700万円
上条・わかば保育園空調設備工事費 … 3560万円
クマ捕獲緊急対策事業 …… 450万円

【条例の制定等】
◎阿賀町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
◎阿賀町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正　など

遊技室で遊ぼう！

新 事業費3560万円

空調設備設置予定の遊戯室

【事業概要】
猛暑により遊戯室での活動が制限されている。その解消を図るため空調設備を整備する。

Q 夏期までに設置できるのか。

A 受注生産のため、難しいと聞いているが早めの発注に努める。

【上条・わかば保育園空調設備整備】

何に使おうかな？

新 事業費7700万円

使用期限は３月22日まで

【事業概要】
「もり阿賀ろうクーポン券」と「灯油購入クーポン券」を配布する。

Q 全世帯配布は3千円増額。子育て世帯加算配布等も増額すべきでないか。

A 経済対策の動きに合わせて検討する。

家族で相談して使います！

上ノ山区
大村　俊さん

【物価高対策生活支援特別事業】

※ 新：当初予算になかった事業

住環境整備にご利用ください

事業費3000万円

浴室のリフォームも対象です

【事業概要】
今年度は申請が多く好評であった。冬季における室内住環境整備等利用を見込む。

Q 対象工事と申請の受付時期はいつか。

A 1月23日から2月16日までの受付とし、受付日以降の工事を対象とする。

毎年あると助かります

安用区
渡部キクイさん

【住宅環境リノベーション事業】

来春に向けての捕獲檻の購入

事業費450万円

ドラム缶式クマ捕獲檻

【事業概要】
県補助金を活用してクマ捕獲檻を7基購入し、来春からのクマ被害に備える。

Q 購入後クマ檻の町の所有檻は14基となるが、運用基準はあるか。

A 基準はない。春の予※察等の状況を見て判断する。

※予察…あらかじめ推察すること

【クマ捕獲緊急対策事業】

介護サービスの充実を

事業費550万円減

在宅介護イメージ画像

【事業概要】
介護保険特別会計（保険事業勘定）在宅介護サービス

Q 給付費の減額の理由は。

A 単身世帯者が、在宅介護サービスから施設入居へ変更したため減額となった。

【居宅介護サービス給付費】

おいしい給食

事業費2100万円

作業中の調理室

【事業概要】
夏場の調理室の作業環境改善を図るため、空調設備を整備する。

Q 全体空調でなく、調理員に直接あたるスポット式を検討できないか。

A 調理員は移動があるので、全体空調方式を採用する。

【学校給食センター管理運営事業】

町政を問う

一般質問

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。一般質問記事は各議員の責任により文章を作成しています。

P6 斎藤 栄 緊急銃猟の対応
P7 加藤 達也 原子力防災計画
P7 阿部 義照 獣害対策の状況は
P8 長谷川 智 獣害対策の見直し
P8 長谷川 庄栄 病院と高校の存続
P9 小野里 雅史 円滑な除雪の為に
P9 森 満 緑泉寮の寮長は
P10 豊島 豊 防災、観光、活性化
P10 入倉 政盛 低所得者への支援
P11 長谷川 眞 町の文化財を整備
P11 宮澤 直子 地域と学校の連携
P12 齋藤 秀雄 公共事業の確保等

クマが出没した場合の緊急銃猟対応は？

斎藤（さいとう） 栄（さかえ）

▲動画の視聴はこちら

町長 緊急銃猟対応マニュアルは策定した

斎藤 阿賀町でもクマによる人身被害事案が、9月に発生した。新潟県内においても8件の緊急銃猟が行われた。当町は、マニュアルの策定と県警及び猟友会との連携はできているのか。

町長 マニュアルは策定した。危険鳥獣が、住宅地周辺に居座り、かつ追い払いが難しく膠着（こうちゃく）状態時に町が判断して、銃猟の可否を決定する。警察及び猟友会、関係機関と連携していく。

斎藤 当町では、目撃後の聴取が面倒なので通報しないとの声をよく聞く。市街地での目撃情報は人身事故に直結するので重要だ。通報するように広報が必要だ。

町長 市街地だけでなく、人家に近いところや集落内の目撃は情報共有と外出を控えるなど極めて大事である。広報に努める。

肉用牛産業

斎藤 長木地区の牧草地が肉用牛繁殖農家がやめることで活用しないと言うが、荒廃させないでほしい。有害鳥獣の住みかになる。

町長 既存の管理組合と連携した新しい組合を作り、みんなで同じ方向を見ながらやっていくことを、目指していく。

活用訓練はどうする？

原子力防災計画の進捗は

加藤達也（かとう たつや）

▲動画の視聴はこちら

町長 今年中には、ある程度の案を示す

加藤 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働容認の判断を新潟県知事が下した。阿賀町も避難準備区域となっているが。

総務課長 当町は長岡市栖吉（すよし）町の住民約8千人弱の避難者を受け入れる計画である。

加藤 複合災害があって、避難経路が確保できないこともありうるのではないか。ここは、国県に対し、高速道路の4車線化や49号線が止まることがないよう道路整備を要望すべきだ。

町長 以前から強く要望している。連続180ミリで止まってしまうという現状がある。今後もトンネルの老朽化も含めて要望を継続していく。

商店の活性化

加藤 商店の活性化は地域経済循環率※を上げることが重要だ。

町長 町の中で消費する仕組みを構築することが必要だ。

加藤 そのためにボランティア活動などにポイント付与するような地域通貨を導入の考えは。

町長 以前から導入を目指すべきという意見はあった。地域経済に貢献する形での行政運営が必要である。

他に公共交通や農業の未来・インフラの維持・職員確保について質問しました。

※地域経済循環率とは地域内で生産された所得がどれだけ地域内で循環しているかを示す指標のこと

避難所イメージ画像

クマ出没警戒期間中の獣害対策の状況は

阿部義照（あべ よしてる）

▲動画の視聴はこちら

町長 関係機関と連携してパトロール、捕獲等を強化

阿部 県のクマ出没警戒期間中の対応は。

町長 警察、猟友会等と連携しパトロール、捕獲の強化を図り被害防止に努めた。

阿部 箱わな等を増やす必要があるのでは。

町長 ドラム缶式と箱わなの8基で対応している。新たにドラム缶式を7基整備する。

箱わなによるイノシシ捕獲（上島区）

阿部 町アプリ「しらせあい」に目撃者が通報できるクマ対策アプリを導入する考えは。

総務課長 信頼性ということも必要と考える。アプリについては今後の検討課題とする。

農業に新たな補助金を

阿部 米作りには農機具の修理等に経費がかかる。機械が壊れたらやめるという方も多い。阿賀町の農家を守っていくためには、小規模経営者に対しても、阿賀町住宅リフォーム補助金のような農地版の補助制度が必要ではないか。

町長 一般的な修理について補助は現在考えていない。全体予算の中での施策等、新しい部分については支援策を議会に相談していく。

「あがりーな」を拠点とした交流人口について

阿部 交流人口を増やすための検討は進んでいるのか。

町長 今後は商工会等と連携し、商店のクーポン券やチラシ、パンフを置くなどPRを進めていく。

鳥獣害対策の見直しを

長谷川（はせがわ） 智（さとる）

▲動画の視聴はこちら

町長 全庁体制で取り組んでいく

長谷川 集落支援員の活動が町民に認知されていないように感じる。

町長 活動内容をより分かりやすく周知していく。

長谷川 クマの異常出没に対し集落支援員4名体制で足りるのか。

町長 緊急対応として有害鳥獣担当の町職員2名をクマ対応に当てている。

長谷川 クマの目撃情報が増える中、捕獲檻を増やすべきではないか。

町長 新たにドラム式を7基購入する予定。

長谷川 ガバメントハンター※雇用の考えは。

町長 狩猟免許取得を希望する者がいればバックアップしていく。

長谷川 昨年12月定例会議一般質問で取り上げられたイノシシ対策に開発された装置を導入する考えはないか。

町長 来春モデル地区を選定し、効果の検証を行う計画をしている。

三川地区日帰り温泉

長谷川 9月の一般質問で雪が降る前の対応を訴えたが湯めぐりカードの利用の見込みは。

町長 近隣の温泉施設との協議は進んでいることは承知しているが、県との協議がなかなか進まない現状がある。

※ガバメントハンター…狩猟免許を持った地方公務員のこと

クマの対応に追われた集落支援員

津川病院と阿賀黎明高校の存続に向けた取組は！

長谷川庄栄（はせがわ しょうえい）

▲動画の視聴はこちら

町長 町の動きが見えにくいという指摘はその通り受ける

長谷川 津川病院と阿賀黎明高校は、町に必要な大事な県立の施設であるが、存続に向けた取組が見えていない。

町長 病院及び高校の存続については、県の幹部職員と意見交換を行っている。

長谷川 存続に向けた要望書には、地域区長会等も加えるべきだ。

町長 まずは、町と町議会の連名を考えている。

長谷川 就学金貸付制度の返還免除に、公務員は該当するのか。

学校教育課長 今回の制度では除外されている。

長谷川 除外は公平性に欠けておかしい。速やかに改正すべきだ。

町長 意見を踏まえながら検討していく。

地域おこし協力隊

長谷川 町を選び着任した協力隊が、退任後に起業し定住を予定している場合は、複数年の経済支援が必要でないか。

町長 町の制度等で可能な限り支援するので、退任後も活躍してほしい。

地域と学校

長谷川 議会で要望している阿賀津川中学校に隣接の町道改良等の進捗は。

建設課長 現地の確認のみで、具体的に進んでいない。

長谷川 確認後に何もしていないのは議会軽視でないか。次の定例会議で再度質問をする。

町に必要な病院(上)と高校(下)

除雪時の段差確認と改善を

小野里雅史（おのざと まさし）

▲動画の視聴はこちら

町長 全長400㎞あり難しいがしっかり行なっていく

小野里 雪道をスムーズに通れるのも県内トップクラスの除雪技術を持つオペレーターの方々のお陰である。シーズン終わりにでもアンケートまたは聞き取りを行い、道路上のマンホール等の段差の確認をして、より安心して作業できるよう改善してほしい。

町長 全長400㎞の道路を有する阿賀町なので難しいが、しっかり行なっていく。

小野里 平堀地区の県道には消雪パイプはあるが流雪溝が無いため、各家庭の敷地内で処理できない雪を道路に出さざるを得ない。積雪が多いと悪路となる。整備は簡単ではないが流雪溝を設ける事は出来ないか。

町長 私も道路管理者であるので振興事務所に相談しながら地元区長と連携し進めていくが難しい問題だ。

これでは引っかけます！

有害鳥獣対策

小野里 冬眠しないサルやイノシシは、雪で食糧が無くなる冬場こそ檻に掛かり易くなるのではないか。雪で仕掛けも大変だが効果があると思うが。

町長 雪により畑等での農作物（食糧）が無い時期に仕掛けるのは効果的であり積極的に行うべきと以前から思っていた、専門家と協議して進めていく。

障がい者雇用

小野里 事業所から障がい者雇用をしたいが何から始めたらいいのか？との声があるが対応は

町長 是非役場に連絡して頂き説明会を開催していかなければと考えている。

緑泉寮の寮長は継続性が必要では

森 満（もり みつる）

▲動画の視聴はこちら

町長 寮運営はNPOへの委託で現状に不安はない

森 緑泉寮の寮長は現在、地域おこし協力隊の方が担当している。任期が最長3年のため、寮長として多岐の業務を任せるには継続性に不安がある。遠方から来る生徒が安心して生活できるよう「継続可能な寮長」を置いてはどうか。

町長 運営はNPO法人への委託で5名のハウスマスターを配置している。全国的に高校の寮運営体制は管理人1名またはハウスマスター1・2名が一般的だが、阿賀町は5名体制を採用しており全国的にも充実した施設である。寮運営の責任はNPO法人にあり寮長の任期が1年であっても複数年であっても大きな不安はない。

あがりーなはなぜ無料なのか

森 「あがりーな」はなぜ無料なのか町民への周知が不十分である。なぜ無料にしたのか、町民への説明を求める。

町長 子育て支援は「原則無償」とする信念があり、医療費、学校給食費の無料化と同様の方針である。施設の建設に際してはデジタル田園都市国家構想交付金や過疎債など国の財源を活用し無料の施設として計画され、議会や国から認められた経緯がある。利用料を徴収する場合試算では、年間1200万円の収入が見込まれるが、徴収に必要な人件費が950万円かかり、収益は250万円に留まる可能性がある。利用者が減少した場合大きな赤字化が懸念される。

遠方の生徒達の寄りどころ緑泉寮

防災、観光、活性化、町民の力を合わせて創る

豊島　豊（とよしま　ゆたか）

▲動画の視聴はこちら

町長　地域全体で共助の仕組みづくりに取り組む

豊島　要援護世帯の排雪実施要請数と実施数の100件の差は。

町長　近隣で除雪が行われている状況とその他危険性、緊急性を判断して対処した結果の差である。

豊島　除雪での共助の観点から支援ボランティアセンターを設置し手の回らない箇所の対応と社協との連携を図ってはどうか。

町長　支援ボランティアセンターの必要性は感じている。社協とは設置、運営に関する協定を締結している。支援体制について地域全体で協議し、共助の仕組みづくりに取り組む。

豊島　地域おこし協力隊の再雇用で町の発展、活性化につなげる考えは。

町長　この町で頑張ってもらえる道が開けるように意見交換、情報交換を行っていく。

敬老会

豊島　来年度の敬老会は行うのか。町民の知恵を生かしていくべきだ。

町長　参加者、関係者の方々から意見を聞き開催していく。

麒麟山城址

豊島　麒麟山城址の整備の進捗状況は町民の知識を共有して進めていくべきではないか。

町長　現地調査と3回の会議を行った。植物、文化財の保全と歴史文化観光の拠点としての麒麟山を目指していく。

災害ボランティアセンター研修

低所得者への支援を

入倉政盛（いりくら　まさもり）

▲動画の視聴はこちら

町長　物価高騰による町民生活への支援を検討する

入倉　物価高騰が続く中、コメの価格も高止まりになっている。国の対策として、2026年度の1月から3月の間で多角的な物価高騰対策が検討されている。町は今年度中に支援はできないか。

町長　国では経済対策として、17・2兆円を超える補正予算案を閣議決定し、国会へ提出している。町に対しては年内に予算化することが要請されているので、補正予算に係る物価高騰地方創生臨時交付金を活用して支援を検討する。

医療政策の充実を

入倉　病院の経営悪化が全国に広がっている。国が策定した「新・地域医療構想」に基づく地域医療体制の整備・淘汰が続けられている。地域の医療体制の再生・充実をはかるべきだ。

町長　県が作成した保険医療計画の中で、すべての地域で必要な医療、福祉が十分に提供され、県が具体的に行っていくよう要望していく。

医療の充実には県立津川病院の存続が必要

阿賀町の貴重な観光資源の保存と売り出しを

長谷川 眞（はせがわ まこと）

▲動画の視聴はこちら

町長 環境整備と周知を図っていく

長谷川 阿賀町には貴重な観光資源が多い。中でも旧会津街道沿いには対の完全な形の一里塚が3基と、江戸時代のまま残っている八木山の本陣の建物がある。

町の財産である観光資源をもっと積極的に宣伝すべきと思うがどうか。八木山本陣の建物は所有者が保全管理ができなくなる恐れがあり、貴重な文化財を損傷する恐れがあるが町はどう考えるか。

町長 会津街道沿いに残るこれらの遺構は当時の姿を今に伝える貴重な文化資源である。今後も一里塚周辺の環境整備に努めるとともに、周知を図っていく。八木山の本陣は令和6年に国の登録有形文化財に登録された。建物内の改造が進んでおり、指定文化財の条件には満たないが、認可された。建物管理は所有者が行うが、町としても情報提供、助言、連携を行っていく。

八木山の本陣

阿賀町のDXプランは

長谷川 町はDX事業担当部署も設けたが、職員数が少なくなる中でAIなどを活用した業務改善が必要だ。今後どのようにDXを進めていくのか、プランはできているのか。

町長 現在のDX推進計画を作成した当初は生成AIの活用は計画に盛り込んでいなかった。

生成AIはクリエイティブ分野に非常に有効だ。AIを導入し職員が使える環境整備をした。町の組織全体でAIを活用した事務の効率化を図っていく。

コロナ後の地域と学校の連携は

宮澤直子（みやざわ なおこ）

▲動画の視聴はこちら

町長 各校がそれぞれ独自の活動を展開している

宮澤 学校の統廃合やコロナの影響により地域にとって学校は遠い存在になったが、現在はどうか。

教育長 現在はコロナ以前同様、活発に活動している。例えば、津川小では酒造会社と連携し雪椿のラベルを作成、販売した。上川小では地域の指導者の下、米作りを行い販売している。また上川老人クラブと連携し、年間で協力した中で活動している。

宮澤 老人クラブとの連携は新しい視点である。できるだけ多くの町民が活動に参加できる体制を望む。

町の行事の日程調整

宮澤 今年は上川小の運動会が雨天順延となり消防演習と日程が重なったため参加できないPTAの方が多数いたと聞く。回避できなかったのか。

町長 できるだけ重ならないようにとは考えているが調整ができなかった。

宮澤 町では、文化的な催し・芸能・芸術に触れる機会が少ない。町主催の行事やイベントの告知方法に工夫が必要では。出雲崎町では学校や町の行事を記載した「生涯学習カレンダー」を作成、配布して町民にあらかじめ知らせている。

町長 非常にわかりやすい事例で参考になる。町では「しらせあい」を活用しているが、更に検討を進めていく。

川遊びでサポートする保護者と老人クラブ

公共事業量の確保は

齋藤秀雄（さいとう ひでお）

▲動画の視聴はこちら

町長 地域活性化に公共事業と除雪事業を築く

齋藤 公共事業量の確保と除雪事業体制について伺う。

町長 公共事業量の確保は地域経済活性化のため、「社会資本整備を考える会」など各関係機関と連携する機会を構築している。除雪体制は例年同様の契約をした。

齋藤 今冬も豪雪が予想されるが運転手確保に企業は苦慮している。公共事業量不足からであるが、中小業者の工事量確保の考えは。

町長 緊急事業債などを活用して地域要望の実現に取り組む。

ふるさと納税

齋藤 ふるさと納税収入の現状は。

町長 ふるさと納税収入は、昨年のコメ不足と本年のコメ価格高騰により厳しい現実だ。主力であるコメの確保に向け、次年度以降農業事業者と連携強化を図り、農業者支援策を検討していく。

齋藤 町が直接、管理運営する組織づくりを構築すべきではないのか。コンサル会社に委託するのではなく、行政主導でいくべきだ。農業者支援と地域農業の活性化、そして農業育成への考えは。

町長 ふるさと納税だけではなく地域の公共事業量確保、農業者支援による地域活性化に向け、あらゆる手段を取る覚悟だ。

いつもキレイに除雪して頂き感謝です

あの質問は　なじょなったん？

追　跡 レポート

議員が行っている質問や提言が、町政にどのように反映されているのか。これまでの質問の中から一部を取り上げ、その後どうなったか追跡してみました。

令和6年3月一般質問

Q 帯状疱疹ワクチン接種に助成金を出す考えはないか。

A 令和6年度より50歳以上を対象に自己負担の半額を助成する。

現状は・・・
令和6年度ワクチン接種者数52名。
令和7年度ワクチン接種者数139名（令和7年12月現在）7年度から65歳以上の方などへの国による定期接種も始まっている。

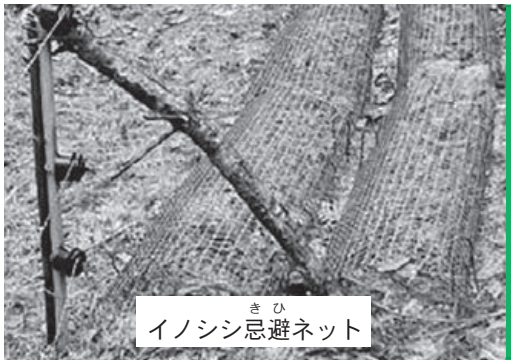
積極的な接種を

令和6年12月一般質問

Q イノシシ用に開発された獣害対策用ネットの導入を検討しては。

A 被害防止の効果、経費、耐久性など情報を得て検討する。

現状は・・・
令和8年春から効果の検証を行う計画をしている。



イノシシ忌避（きひ）ネット

新しい風

罠かけろ、知恵しぼれ！ イノシシ大量捕獲！

中山間地域等直接支払制度を活用して整備された大型捕獲檻を、三川地域広域事業体集落協定から借用し、上島区の有志が自ら設置。見事12頭ものイノシシの捕獲に成功しました！地域課題に立ち向かう知恵と行動力が光る取組みを取材しました。

地域の力で捕獲成功！その成果を映像で

上島区長　神田清栄さん

約10町歩（ha）の米作りをしながら、猟友会の活動もしています。イノシシ被害の中でも特に畦畔の被害が多く見られたため、捕獲チームを組織しました。

ストップ！イノシシ被害

Q なぜ設置することに？

お盆過ぎ、鹿瀬地区に見学に行った際、『この捕獲檻を設置してみませんか？』と提案を受けました。三川地域広域事業体集落協定の所有する大型檻を提供いただけるとのことで、有志でやってみよう！という流れになりました。

イノシシとの頭脳戦スタート！

同じ思いの仲間と共に

Q 組み立ては大変？

初めての作業で戸惑いもありましたが、5人で力を合わせ半日かけ完成。やってみれば意外とできました。

Q 設置から捕獲まで

設置から8日後、檻に集まるイノシシを確認し、翌朝一挙12頭の捕獲に成功しました。捕獲後、適切に処理していただきました。

Q 上島区の皆さんの反応は？

近年はイノシシによる田の被害が悩みでした。今回の捕獲で、被害が落ち着くことへの期待の声が多く寄せられています。

Q 苦労した点は？

設置には複数人の協力が必要ですし、移動するには一度解体しないといけないのが難点。また、捕獲後の処理もなかなか大変でした。

まさかの12頭！一網打尽とはこのこと！

Q 狩猟免許を持つ人がいない集落でも設置可能？

免許を持つ私たちがサポートしますので、設置は可能です。興味のある地区は、ぜひ声をかけてください。

「こっちは本気だぞ」
この頼れる５人が仕掛けました

取材を終えて

上島区は10数戸の小さな集落ながら、住民の皆さんが元気で、とてもまとまりのある印象でした。区長さんをはじめ、有志のみなさんの前向きな行動と熱意に感謝します。取材ご協力、ありがとうございました！

（長谷川智）

全員協議会

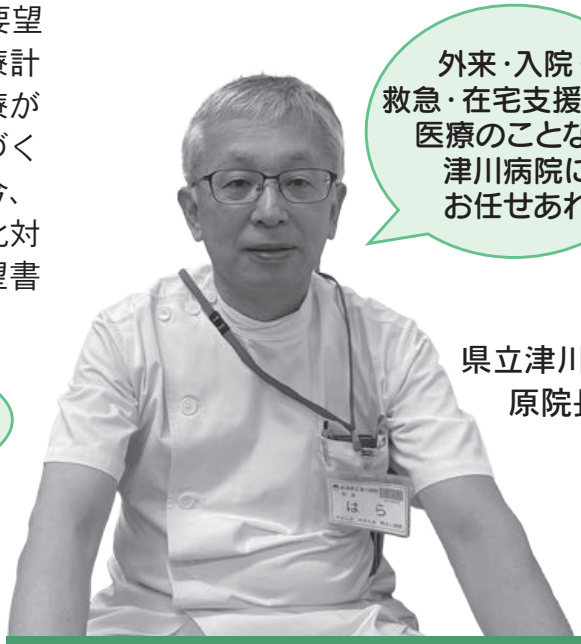
全員協議会は議案の審査、直面する課題について全議員で協議・調整を行う場であるとともに理解を深める場ともなっています。主なものから抜粋して掲載します。

県立津川病院の医療機能の継続・建替えに関する要望書

平成31年から令和４年まで、町・町議会連名で要望書が提出されてきた。第８次新潟県地域保健医療計画では基本理念として、全ての地域で必要な医療が充分に提供され健康に安心して暮らせる新潟県づくりとされている。病院再編の動きが慌ただしい今、県立津川病院の医療機能・継続と充実また老朽化対策建替えを早急にということで、年明けには要望書を再び提出する予定である。

私、この病院がなくなるのは困るのよぉ!!

天満区　齊藤常子さん



外来・入院・救急・在宅支援など、医療のことなら津川病院にお任せあれ

県立津川病院
原院長

町内保育園の完全給食実施

令和８年度から、保護者負担軽減・衛生面の観点から、３歳児以上についても主食，白米の提供を予定している。今後必要な準備・施設整備ガスの配管、また備品整備・ガス釜の購入について12月定例会議において補正予算が可決された。

みんなで食べる給食っていいね！

マイナ保険証を活用したマイナ救急

令和7年10月1日から全国消防本部5334台の救急隊で事業を開始した。町消防本部の10月1日から10月22日までの活動実績は、救急出動件数46件に対し16件マイナ保険証を活用、病院の収容が約2分短縮された。但しマイナンバーカードの読み取りにも時間が掛かるため、あらかじめ準備が必要である。

あなたの命を守る マイナ救急

委員会活動 レポート

産業建設 行政視察

那須白河 フォレストスプリングス

12月15日

阿賀町に建設予定である陸上養殖施設の株式会社日本養魚技術を運営する林養魚場サーモン養殖プラント並びにフォレストスプリングス内のフィッシングパークの視察を行った。フィッシングパークの運営状況、阿武隈川の増水や周辺との関わりを調査した。議会としてもこの計画がつつがなく推進されることを望む。

川辺の新たな可能性を探して

総文社厚 行政視察

山形県・西川町、長井市

10月20日　西川町行政視察

西川町の先進的な「デジタル住民票」「関係人口」「デジタル田園都市」施策を中心に視察。人口減少・高齢化が進む自治体での定着化政策と地域活性化の実践例を学習。

10月21日　長井市行政視察

長井市では、公共交通のデータ集約に基づく路線変更や地元で使えるデジタル通貨を発行してスマホと実物カードの併用がなされている他、モーションカメラでの有害鳥獣の出没の監視などあらゆる面でデジタル化を推進している。視察した中で当町に有効なものは施策提言していく。

産業建設 町内事務調査

岩谷とうふ製造体験施設(仮称)の進捗状況

休耕田の利活用や地場産品を活かした体験型製造・販売を行う。
工事着工、外壁、屋根の外装側は完了段階だが、改修中に想定外の構造補修が判明。追加工事が発生しており補助対象になるかどうか（県と調整中）のためスケジュールが延長。当初の竣工予定から年をまたぐ可能性がある。なるべく早く、製造・販売がおこなえるように議会として要望をした。

伝統の味を次の世代へ

総文社厚 町内事務調査

阿賀町子ども計画の概要

阿賀町子ども計画の概要について説明を受けた。妊娠期から若者期まで切れ目のない支援施策の推進を趣旨とした計画で、よく考慮された内容である。また今年度作成の「阿賀町子育て支援ガイドブック」を他町内のイベント等でも配布しているとのことである。

一家に一冊「子育て支援ガイドブック」

地域と語る会

阿賀らっしぇ

リアルな声を、聴きます！考えます！届けます！

令和7年秋に開催した「地域と語る会」及び「阿賀らっしぇ（原区・当麻区）」では、町民の皆様から率直な意見・提言などをいただきました。このページでは、いただいた御意見、御要望の一部を紹介します。

高出区　10月24日(金)　参加者10名

十分な獣害対策を！

○有害鳥獣対策で集落支援員４人のパトロールでは不十分でないか。

○上川・津川地区は住居表示が未整備で町外からの来訪者にはわかりにくい。

○ごみの分別で分別方法・袋のサイズや使い方が解りにくい。

深戸区　10月25日(土)　参加者９名

公共交通をもっと便利に！

○福祉バスが週３回。支所まで行けばまちなか巡回バスがあるがもっと便利にしてほしい。

○中学生が地元の高校に行かない。大事な高校が存続できないと大変。

西区・赤岩区　10月28日(火)　参加者12名

空き家などの寄付受け入れは！

○土地建物等財産の寄付を町は受け入れるのか。

○日本酒やコメ以外の町の名産品は。

○敬老会の歌のアトラクションが長かった。子供の踊りや地元民謡会のアトラクションがあってもよいのでは。

釣浜区　11月１日(土)　参加者13名

議会と町の両輪で阿賀の里運営の議論を！

○阿賀野川サービスエリアにスマートインター設置を。

○阿賀の里の運営を議会はどう考えているのか。行政を責めるだけではだめだ。

○高齢者の雪下ろし対策を。

水沢区　11月14日(金)　参加者10名

敬老商品券、住宅リフォームの予算増を！

○敬老商品券を増額して渡したらどうか。

○町の住宅リフォーム補助金予算の増額はできないのか。

○地域おこし協力隊退任後も町で仕事を選び、定住するような取り組みが必要ではないか。

阿賀らっしぇでは、「聞いて『すぐ』が阿賀町議会」をテーマに、参加者から普段考えていることや日常生活の悩みを気軽に相談していただける場として開催しています。

原区　11月28日(木)　参加者2名

公共交通の更なる拡充を

○町の公共交通はJRとの乗り継ぎが不便だ。改善して欲しい。

○公共交通の休日運行も必要ではないか。

町からトイレを整備してもらいました

○町を紹介する要覧が発行されていない。５年おきに程度に発行が必要ではないか。

○集会施設のトイレを改修してもらい、ありがたかった。

○津川地域の中心部に公衆トイレがなくて観光客が困っているようだ。

当麻区　12月18日(木)　参加者4名

有害鳥獣対策や除雪対応に苦慮している

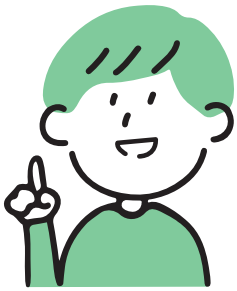
○サル、イノシシ、クマ対策が大変だ。子ザルが電柵の下を通る。イノシシは田の畦畔を崩し困っている。

○以前より良くなってきているが、大雪になると地域の除雪が間に合わない状況も。

○ごみステーションの場所が高齢者や足の不自由な人には遠くて大変だ。

地域と語る会 阿賀らっしぇ を終えて

議会の視点



聞いてすぐが阿賀町議会スタイルを実感

各会場では、多くの参加者があり活発な意見交換がされ、充実した「地域と語る会」となった。
記載はないが有害鳥獣に関する質問・意見が多く寄せられた。議会でも今後速やかに調査・提言をして参ります。

参加者の声

地域と語る会

釣浜区
佐藤 守さん

女性の参加者が多く、畑のサル被害対策に関心があったのでは。サル対策を充実させるべきだ。
旧下条小学校のプール廻りの樹木伐採はよかった。

阿賀らっしぇ

原区
長谷川 佐吉さん

参加人数が少なかったですが有意義な時間でした。

次回開催日

2月26日(木)
午後1時00分から
ふるさと交流川屋敷 阿賀の間

気軽にきてください

参加議員
森・小野里・斎藤(栄)

議会だよりモニターさんと交流しました

令和7年11月19日、議会だよりモニターさんと意見交換会を行いました。今回は新しくモニターになった3名を含む6名の方が参加し、議会だよりの印象、内容、改善点、希望等の他、町の課題など多岐にわたり意見交換を行いました。

予算や決算でなぜ増額されたのか？などの説明があるとよいのでは。
「地域と語る会」「阿賀らっしぇ」で出された意見を取り上げる努力は必要。
議会だよりをファイリングできるものも検討してほしい。

他の自治体は住民と議会との間に距離があるように感じるが、阿賀町議会は身近に感じる。これも議会だよりの効果なのでは。
議会だより通信簿は気軽に入力できるような形にしてほしい。

町民が多く登場したり、サブタイトルが大きく載っているので目を引き、開きたくなる広報誌になっている。
賛否が分かれた表があるが、なぜ賛成なのか？なぜ反対なのか？の方が気になる。
ユーチューブのダイジェスト版を作ってほしい。

新しい見方 新たな気づき

表紙などの写真を町民から募集するのも面白いかも。
阿賀町ファンクラブ会員の方にも議会だよりを配信したらどうか。
子ども議会は中高生にも拡大したらどうか。

馴染みのない用語には説明が必要。
「すぐやるのが阿賀町スタイル」は毎号載せてもいいのでは。
ゴミ収集業者さんの意見を聞いたらどうか。
「クリーンセンターあがのがわ」の視察・報告がほしい。

防災の観点から消防特集は良かったが、実際の苦労など消防士の生の声があったらもっと良かったのでは。
追跡ページは毎号載せてほしい。
子ども議会で出た意見は大事にしてほしい。

いただいた意見を参考に阿賀町議会だよりは、今後も見やすく読みやすい日本一の議会広報誌を目指してまいります。

新有権者の声

小日山 拓さん
（18歳　五十島区）

今回は、令和7年の春から社会人となり、実際に選挙を一度経験しました小日山 拓さんに、有権者としての意気込みを聞いてみました。

安心・安全に暮らせる町にしてください

Q 新たに選挙権を持ちましたが一言感想を教えてください。

A 有権者になって、やっと一人前の大人の仲間入りが出来た感じがしました。春に初めて投票する時は、ドキドキしましたが、家族で開票を聞き応援した人が当選した時はうれしかったですよ。

Q あなたにとって議員さんのイメージは、どうでしょうか

A 実際、選挙に参加するまでは、正直なにも興味はありませんでしたが、自分の応援している人が議員になってからは、何をしているのか気になるようになりました。

Q 阿賀町へ一言

A 今年、ニュースでもよくクマの話題を見ましたが、地元でもクマが出た！見た！と聞くと、怖くて…だから、安心・安全に暮らせる町にしてください。

Q これから頑張りたいことは。

A 春から咲花温泉の佐取館で働いています。そこで一流のホテルマンになれるように頑張っていきたいです。

僕を見かけたら
声を掛けて下さい

3月定例会議のお知らせ

予定

○期日　3月5日(木)～3月19日(木)
○内容　2月27日の議会運営委員会にて決定

皆様の傍聴、視聴をお待ちしています。

＼議会だより通信簿／
あなたのチェックが紙面を育てる

議会だよりを読んで感じたことを教えてください。
「ここが良かった」「もっと知りたい」「ちょっと分かりづらい」「今回は何点！」など、どんな声でも大歓迎！あなたの声が、次号のヒントになります。
※お名前・ご住所は任意です。お気軽にお寄せください。

■電　話：0254-92-3112
■ＦＡＸ：0254-92-5725
■メール：gikai@town.aga.lg.jp
■フォーム

質問内容をリニューアル

編集後記

昨年は、クマ出没やイノシシ被害が多い１年でした。今年は山の木の実も豊作になり里に降りてこないことを願うばかりです。昨年春から広報委員もメンバーが変わり気分一新、より読んでもらえる議会だよりを目指して今年も頑張ってまいります。（長谷川 智）

町HP議会ページ　ユーチューブ 町議会チャンネル

●発　行：阿賀町議会　☎0254-92-3112
新潟県東蒲原郡阿賀町津川580番地
●発行責任者：議長　齋藤　秀雄
メールアドレス：gikai@town.aga.lg.jp

お詫びと訂正 議会だより第82号において、以下のとおり氏名表記に誤りがございました。
P7【誤】山口カヨさん　→　【正】山口カヨ子さん　　P18【誤】波田野一平　→　【正】波多野一平
関係者の皆様および読者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを、ここに深くお詫び申し上げます。

かみるん
町活性化のため作成したキャラクター

わたしたちの意見 町長！聞いてください

1月14日 上川小学校

こんな阿賀町にしたい…そんな思いを胸に上川小学校の6年生が議場に立ちました。
実際の子ども達の質疑内容を紹介します。

Q 阿賀町の魅力を伝えるために、どのようなPRをしていますか？

A 町のHPやSNS、イベントなどで情報発信しています。
皆さんがPR活動する時は、一緒に行いましょう。

Q 町長はどんな阿賀町にしていきたいですか？
そして、私たちが今からできることはありますか？

A 皆さんが安心に安全で、そして生きがいをもって、笑顔で暮らせる町を目指しています。

Q 高齢者や小さな子どもも楽しめるイベントがあったら良いと思います。どんなイベントを考えていますか？

A 自然を生かしたイベントを通じて、１年中楽しめる阿賀町を知ってもらいたいです。

Q 中学校でバドミントン部を作るには何人必要ですか？

A 町外のクラブで活動している生徒もいますので、町は可能な限り応援します。

議会終了後に感想を聞いてみました。

迫力があった

真面目な雰囲気だった

学校とは違う雰囲気で緊張した

暑かった

この場で話し合いが出来ることを実感した

交流できる場所があったらいいな

すごく静かで大人って感じ

イスの量が多くてビックリした

足が震えて緊張した

話を聞きながらメモってる人がいた

あがまち 議会だより

No.83
2026.2

Kamikawa Elementaryo Scool

上川小学校

緊張で胸がいっぱいだった…でも勇気を出してみた
気付けば…できていた…

ダブル表紙